

第15回

多久市剣道練成大会

★ 基本	低学年の部
優勝	泉 孝多朗
2位	安藤 匠海
★ 基本	高学年の部
優勝	野田 哲也
2位	増本 翔一
★ 小学3・4年生	男女混合の部
優勝	北川 真美
2位	瑠菜
★ 小学5・6年生	男子の部
優勝	松尾 康之
2位	千葉 礼臣
★ 中学生女子の部	女子の部
優勝	寺崎 夏末
2位	北川 勇太
★ 中学2年生男子の部	男子の部
優勝	上戸 雅人
2位	拓朗

試合は、防具を着けずに基本動作の正確性を競う基本低学年の部門から、年齢別の各部門に分かれ競技が行われた。

参加した選手たちは、日頃の練習の成果を發揮すべく相手のスキを伺いながら、竹刀に力を込めて、威勢よい掛け声に合わせて面や胴、小手などの技を繰り出していた。

まだ寒いこの季節の冷たい床の上でも、子どもたちは裸足で寒さにも負けずに機敏な動きを見せていた。

1月28日(日)中央中学校体育館において、第15回多久市剣道練成大会が開催された。

まだ寒いこの季節の冷たい床の上でも、子どもたちは裸足で寒さにも負けずに機敏な動きを見せていた。



小城高校選抜出場

29年ぶり掴んだ甲子園への切符



樽岡 裕太
西渓中出身
(明治佐賀)



竹内 佑希
中央中出身
(栄町)

小城高校野球部

多久市出身選手の顔ぶれ



池田 健
中央中出身
(浦山)



出口 雄基
中央中出身
(中の原)



円城寺悟士
東部中出身
(別府三区)



竹内 翔吾
中央中出身
(栄町)



野田 優斗
西渓中出身
(藤川内下)

1月26日、佐賀県立小城高等学校が、第79回選抜高校野球大会への出場校に正式決定した。小城高校の甲子園出場は、28年前の夏の大会の一度のみ。選抜大会は、今回初



は、すぐさまグラウンドへ駆け出し、監督を2、3回胴上げした後に、秀島主将の掛け声にあわせ部員が空高く帽子を放り投げた。

校内放送を聞いた生徒は、すぐに駆け出し、監督を2、3回胴上げした後に、秀島主将の掛け声にあわせ部員が空高く帽子を放り投げた。

吉報を受けた野球部員は、すぐさまグラウンドへ駆け出し、監督を2、3回胴上げした後に、秀島主将の掛け声にあわせ部員が空高く帽子を放り投げた。

3月23日から開幕する選抜大会、小城高校の勝利はもとより多久市出身選手7名の活躍にも期待しています。甲子園のアーレップススタンドに苗城の旋風を巻き起こせ。

出場となる。

午後3時50分過ぎ、吉報を待つ森山校長のもとへ電話が入り「素晴らしい春の切符をありがとうございます。大きな喜びの心でお受けいたします」と校長の声が、報

福の声を掛けた。

小城高校野球部は、昨

秋の県大会で優勝。九州大会では準決勝で敗れは

したもの、すばらしい試合内容を残していた。

野球部員の中には、多

く市出身の選手7名が在籍する。